

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…畿央大学 学生支援センター (0745-54-1601)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
学習指導要領に応じた小学校教育における学習指導のあり方		小学校教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月23日(木)	50人	衛藤 晶子(畿央大学・教授) 西端 律子(畿央大学・教授) 八木 義仁(畿央大学・講師) 大久保 賢一(畿央大学・准教授)		
会場				
畿央大学				
<b>【講習の概要】</b>				
国語科教育、音楽科教育、情報教育、特別支援教育を専門とする教員が、それぞれの分野の教育課程の特徴を踏まえて、最新の研究と、今後の教育に役立つものを取り上げる。また、教育現場におけるICTの活用、教育のデジタル化について学習指導要領を踏まえて取り上げて、中学校との連携についても理解する。受講者には各講義で解説された内容を理解し、その中心となる部分を説明できるように求める。				
<b>【小テーマ①】 音楽科の学習指導</b>			1. 5H	(担当講師:衛藤 晶子)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	いま音楽科に求められていることは何かを考える。また、音楽科の学力を伸ばす授業づくりの実践事例の紹介や演習などを通して、授業づくりの具体的方策を考える。			
到達目標・確認指標	音楽科の育成すべき学力とは何かを理解するとともに、音楽の授業づくりについての視点をもつ。			
キーワード	音楽科の学力、授業づくり、表現と鑑賞			
<b>【小テーマ②】 ICT入門～プログラミング教育入門～</b>			1. 5H	(担当講師:西端 律子)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	学習指導要領における「情報活用」について、中学校との連携と共に概説し、電子黒板を活用した実践事例を紹介する。将来的な学習環境の一つとしてタブレットPCを取り上げ、実際に授業場面を想定した演習を行う。			
到達目標・確認指標	ICT教育について、学習指導要領における取り扱い方、および中学校との連携について理解する。さらに、実際の授業場面を想定し、電子黒板やタブレットPCの使い方を習得する。			
キーワード	ICT活用、デジタル化、学習環境、電子黒板、タブレットPC			
<b>【小テーマ③】 国語科の学習指導</b>			1. 5H	(担当講師:八木 義仁)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	各教科等で言語活動の充実を図るための基盤となる国語科の果たす役割を理解するとともに、改訂される学習指導要領を踏まえた学習指導について具体的・実践的に考える。			
到達目標・確認指標	新学習指導要領を踏まえた国語科の授業づくりについて理解する。			
キーワード	言語活動の充実、授業づくり			
<b>【小テーマ④】 発達障害の理解と支援</b>			1. 5H	(担当講師:大久保 賢一)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、自閉症スペクトラム障害(ASD)など、主として発達障害の特性や必要な支援について解説を行う。			
到達目標・確認指標	発達障害の特性について理解し、その特性に配慮し、かつ通常学級、特別支援学級、通級指導教室などで実行可能な教育実践を立案することができる。			
キーワード	特別支援教育、発達障害、ユニバーサルデザイン、合理的配慮			
試験方法	1日の最後にまとめて筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	各小テーマごとに採点し、各25点、合計100点満点で60点以上を合格とする。			
備考	昼休みの時間に電子黒板等を実際に自由に触って頂けます。			